

「バス無料デー」開催日における大分県内路線バスの運賃に関する県民意見募集の結果

1. 県民意見募集の実施方法  
パブリックコメントによる県民意見の募集（令和6年10月7日～令和6年11月6日）
2. 提出意見件数  
意見提出者数：2名 意見項目数2件
3. 意見の要旨と県の考え方及び反映状況について

No.	意見の要旨	県の考え方及び反映状況
1	<p>「バス無料デー」の実施は、賛成。 しかし、路線バスだけでは上手く乗り継げなったり、行きたいところに行けなくなったりするため、高速バスや空港バスを除外したことは残念。</p> <p>また、計画の概要は、もっとわかりやすく「県民の懐を傷めず遠出・近出ができて、買い物や飲食や観光を楽しんでもらうための一日バス無料の日を実施します！！」で良かったのではないかと。</p> <p>また、こんな乗り継ぎができますなどのアイデア募集や楽しかったあるいは発見があった乗り継ぎの感想など集めると面白いのではないかと。</p> <p>そのためにも、来年からは、春と秋を中心に平日2回・土曜日曜祝日で3回の計10回ぐらいを計画してほしい。</p>	<p>本取組の目的のひとつが、利用者の減少が続いている路線バスの利用促進であるため、御意見いただいた高速バスや空港バスは対象から除外している。</p> <p>また本取組は、それに加え、買い物等の外出機会の創出による地域経済の活性化や交通渋滞の緩和、環境負荷の軽減など多面的な効果発現の実証を趣旨としている。</p> <p>本事業の感想については、実施日に実際の利用者へアンケート調査をする予定。</p> <p>来年度以降については、本年度の取組結果を分析し、さらなる事業の実施について検討していく。</p>
2	<p>各バス会社とも、運賃の値上げが行われたことから、バスから自家用車に乗り換えた人も多くいると史料。</p> <p>運賃の値上げ以降、通勤時間帯において渋滞が多く発生しているように感じる。</p> <p>さらに「バスレーン」に一般車両が入り込むことでバスが渋滞に巻き込まれ、バスであっても時間的優位性がなくなっていることから、結果的にバスが利用されなくなっていると感じる。</p> <p>「バス無料デー」よりもバスレーンの遵守を徹底したほうが、バスに戻る人が増えると考えられる。</p>	<p>今回の実証事業では、交通渋滞緩和効果についても検証する予定である。</p> <p>バスレーンの遵守については、道路交通法の所管である警察に伝えたい。</p>